

自分探しのあなたに

今がつらいあなたにも

## 「しおかぜ」のやさしさを伝えたい！！

～平成18年度三島村しおかぜ留学生（中学生）の声～

中学生の声

◎＝留学してよかったと思うこと

◇＝他の人に留学を勧めるわけ

- ◎ 人間の温かみを知ったこと。限られた人数の中で自分自身と向き合うことができたこと。身近にいた親の大切さを再確認したこと。
- ◎ これが「自分」というものを見つけたこと。大切な「人」「物」の意味が分かったこと。
- ◎ たくさんの自然の中で生活をして、普段では体験できないことをして、とても楽しく生活できたこと。
- ◎ いろいろな人と接して明るくなれたこと。様々な体験ができたこと。
- ◎ 自分から手伝いができるようになったこと。勉強が分かるようになったこと。
- ◎ 生徒会長や応援団長などで活躍できたことなどの普通では体験できないことや、いろいろな県の友達との出会いがあったこと。「学校」というだけで押しつぶされそうだった私が毎日学校に行けたこと。
- ◎ 小・中学校生また地域の方と接する機会が多いため、年齢を問わず話せるようになったこと。
- ◎ 同じ家に住む留学生や里親さんと家族のような絆ができたこと。
- ◎ 島の文化を体験できたこと。規則正しい生活を身に付けられたこと。
  
- ◇ 三島村をいろいろな人に知ってほしい。ジャンベ(アフリカ太鼓)をたたいて楽しんでほしい。
- ◇ 楽しいから、みんながやさしいから、いじめがない。分からないことを分からないと言える。
- ◇ 今つらい思いをして、いやいや学校に行っている人もいると思うから、その人たちにも違う学校のよさを知ってほしい。いやなことばかりじゃないってことを知ってほしい。
- ◇ 親元を離れることや今までの友達と離れるのはつらいけど、その分、今まで得られない島での生活や学校行事でも、小・中学生協力してがんばる。人数が少ない分、先生に思う存分分からない問題が聞けて理解できるようになる。
- ◇ 三島村は他の島の人とも仲が良く、自然いっぱい村民の方々が温かく接してくださる。

竹島

硫黄島

ある母親の声

黒島

2年前の冬、私たち家族は、深い絶望の中にいました。いじめを受け、立ち上がれないほどの苦しみにいる娘。その娘がどうしたらもう一度、以前の明るい子にもどれるだろうかと、そればかり考えていました。

悩み抜いた末、娘の「学校に行きたい。友達と楽しく話したい。勉強したい。」という強い意思を確認し、転校を決めました。

自然の多い、明るい環境を希望し、お電話させていただいた時、三島中学校の先生から、「おまかせください。心よりお待ちしております。」というお言葉をいただきました。

受話器を置くと同時に胸が弾み、うれしい感謝の涙がこぼれました。里親さんご夫婦にも優しいお言葉をいただき、それから1週間後、娘は硫黄島へ渡る船の中にいました。

出発までの日々、娘も私たち家族も、新しい生活、新しい学校への期待が大きく大きく膨らんでいくのを抑えることができませんでした。しおかぜ留学も、2年目になりました。約1年半前想像していた通りの充実した生活（島のいろいろな行事に積極的に参加させていただく）や、また先生方の熱心なご指導のもとで過ごす学校での時間、ジャンベの演奏活動など、心より感謝いたしております。あの時、決断して本当に良かったと、遠く離れた地より、娘の毎日の健康を祈るとともに、学校の先生方、里親さんご夫婦、そして島の皆様に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も、このしおかぜ留学の制度をぜひ続けていただきたいと思います。それは、いじめにあった子どもたちが苦境から立ち直り、再び生きるためのエネルギーを取り戻すため、なくてはならない制度だと考えるからです。

（平成18年秋：県外からの留学生の母）

あなたが何かをきっかけとして、前向きな気持ちになれるのならば、一度きりのあなたの人生も一歩ずつ開かれていくものになると思います。そんなあなたの心に寄り添い、さりげなく応援してくれる人々との出会い、風景との出会い、それが三島村の「しおかぜ」のやさしさです。

この留学制度は、申し込みの時期を指定しているものではありません。人数は限られておりますが、いつでもご連絡・ご相談ください。お待ちしております。小学4年生から留学可能です。

〈連絡先〉三島村教育委員会 電話（099）222-3141